新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所　新京日日新聞社
十河榮忠
和波
水越內之介

青陽を中心に猛追 冬季反攻を撃破
敵遺棄死體實に六千餘

【安慶卅日發國通】冬季攻勢に呼應して本月中旬第三戰區青陽方面に抵抗し來つた敵はわが軍の猛攻に擊破され支離滅裂となつて青陽南方に潰走し去つたが、去る十六日より廿七日に至る該方面における彼我交戰は稀に見る壯烈なものであつた、敵第卅三集團軍長唐式遵及び第十、十六、六十七の三ヶ師は蔣介石、顧祝同の督戰と五十萬元賞金附きで冬季攻勢を呼號し小賢しくも長江遮斷を企て十二月初旬より青陽を中心とする江南一帶に大軍を集結し中旬に至り蠢動しはじめたので、わが軍はこれを殲滅せんと行動を開始し十六日を期して石谷、石井、後藤、島田、小松、井上、湧野、原田の各部隊に俄然總攻擊を敢行、陸海の荒鷲も又敢然地上部隊に呼應して一擧に擊滅すべく火蓋を切つた、敵は多數を恃んで葬さあひつゝ押寄せて來たがこれに對しわが方僅か十分の一にも足らぬ寡兵を以て邀擊、十六日より廿四日に至る九日間二百メートル高地、步嶺（大通南方約四里）で大激戰を演じ壯絶を極めた、廿三日步嶺を確保するや敗敵を追擊し五崚橋、青陽間の隘路に追込み陸海空軍の協力のもとに殲滅的大打擊を與へ青陽南方へ潰走せしめ廿九日多大の戰果を擧げ一段落を告げた、この間二週間、步嶺の高地と附近曠野には敵の死體累々とし橫たはり血腥い新戰場の跡を物語つてゐるが、わが方が確認せる敵死體は六千二百、山中に埋沒、隱蔽せるものを推算すれば一萬を下るまいと見られ敵主力は殆ど潰滅し再起不可能に陷つた、この戰鬪に於てわが方の戰死約三百、內將校約二十名である

壯絶なる邀擊戰
蔣の出擊企圖を完封

【安慶卅日發國通】青陽方面における約二週間の戰鬪は日露戰役旅順總攻擊にも勝る壯絶なもので我が將兵はこの期間中風呂どころか顏さへ洗ふ暇とてなく、その勞苦は言語に絶するものがあつた、步哨附近は凹凸の起伏が多く又二里四方に僅か五、六軒の農家しかない有樣で我軍は終始寒風を衝いて野營を餘儀なくされた、また彼我の激戰で空爆砲彈或は燒夷彈で山間丘稜到る處に山火事が頻發し夜空を紅に染め砲聲殷々と響き渡り凄壯を極めた、敵屍一萬、捕虜百、鹵獲品には機關銃その他兵器彈藥等頗る莫大な數に上つてゐるが捕虜は背囊、防毒面、手榴彈等を携へ服裝も新調で比較的新しい裝備を持ち四川、廣西、湖南及び福建の各省で編成された廿歲から卅歲までの青年が多かつたと言はれ準備に長い期間を置いただけに陣地構築、軍用道路改修、電話線架設などども相當手が混んでゐた、わが軍はこの大軍を邀擊し約二週間、凡ゆる不自由を克服し遂に敵に再び起つ能はざるまでの大鐵槌を下し意氣益す軒昂、蔣介石の揚子江出擊企圖を完全に挫折せしめたのであつた

現地海陸最高指揮官に祝電

【東京國通】大本營海軍報道部卅日午後三時發表＝今次海陸軍航空部隊共同の廣州空襲に對し本日軍令部次長は及川支那方面艦隊司令長官並に西尾支那派遣軍總司令官にあてそれぞれ左記要旨の祝電を發した

支那派遣艦隊司令長官宛
海軍航空部隊は陸軍と共同し長驅敵航空の有力なる據點を攻擊し赫々たる戰果を擧げたるを祝す

支那派遣軍總司令官宛
陸軍航空部隊は海軍と共同し幾多の苦難を克服して敵航空の有力なる據點を攻擊し赫々たる戰果を擧げたるを祝す

宜昌城內外を猛爆

【○○基地卅日發國通】森玉、土居陸鷲部隊長自から指揮する○○機の大爆擊編隊は共同して三十日早朝出動、最近敵進出の兆ある宜昌城內外の軍事施設を猛爆、多大の戰果を確認して全機無事歸還した

英國船チーブシー號の沈沒瞬間

英支國境線に於る
わが守備隊を撤收

【廣東卅日發國通】南支派遣軍は列國並に南支民衆福祉のため珠江航行の禁制を解くと共に英支國境線深圳、寶安の兩守備隊を撤收するに決し卅日左の如き聲明を發した

△南支派遣軍聲明

軍は曩に作戰の必要上珠江の通航を禁止するの措置を執りたるも今やその必要漸く減少せるを以て列國並に南支民衆福祉のため進んで珠江航行の禁制を解き且つこの意義を一層明瞭ならしめると共に英國側の希望をも友好的に考慮し深圳、寶安兩守備隊を撤收せり、固より支那軍が國境附近の特性を惡用して同方面に蟠居するか或は同方面か抗日軍の補給を再開するの兆候を認めたる場合に於ては軍は斷乎有力なる兵團を以て作戰し我本案源手段を敢行すべき事言を俟たざる所なり軍は香港當局の善處を得てわが軍のこの誠意ある措置が永續せんことを切望してやまざるものなり

敵總崩れ 漢州に退却

【南昌卅日發國通】南昌奪還を目ざし冬季攻勢を企圖した敵はわが猛烈な反擊に卅日完全に總退却し廿九日遂に吉安より漢口上流の漢州に遁走した、なほ今季攻勢におけるわが戰果は敵遺棄死體總計五千、捕虜三百、鹵獲品は機銃百、小銃五百十六、小銃彈五萬八百發、手榴彈九百卅餘である

宣府發表
一、射陽河監視部隊は去る廿七日午前九時卅分頃合興鎭附近においてチエコ機銃を有する有力なる敵匪より射擊を受けたるに依り直ちにこれに反擊を加へ交戰約四十分にしてこれを沈默せしめたり、漢河監視部隊は同日午前九時三十五分頃燕尾港にて敵匪の射擊を受け直ちにこれに猛烈なる銃砲火を浴びせ敵を完全に沈默せしめた、敵損害甚大なるものの如し

三、射陽河方面のわが部隊は廿四、二十六の兩日に亘り夫々大浦江の大平港附近に於て比較的有力なる敵匪を發見、これに猛烈なる砲擊を浴びせ激戰のゝち完全にこれに殲滅的打擊を與へたり

四、廿七日午前七時頃○○艦載機○機は樓翦、薬陽方面の陸軍作戰部隊に協力して大辛店西南二十キロの山地帶に據つて頑強に抵抗する敵匪に對し機銃掃射を行ひ敵に多大の損害を與へ潰走せしめたり

敵南寧奪還失敗

【廣東卅日發國通】南寧奪還のため蔣介石は多數の兵力を同方面に集中して再三逆襲を試みてゐるが、これに對しわが軍はその都度隨所に猛反擊を加へ荒鷲部隊の果敢なる爆擊と皇軍獨特の追擊によつてこれを擊碎同方面を確保してゐるが、十二月中旬以降二十九日までに判明せる敵の損害は九塘前面のみでもわが○○砲並に空爆によつて敵砲兵七個中隊を完全に殲滅し敵屍體一萬三千五百に上る大戰果を擧げた

四國大使 重慶で會議

【上海廿九日發國通】目下上海に滯在中の英大使カー氏はいよ／＼一兩日中に上海出帆香港經由重慶に赴くことゝなつたが、ジョンソン米大使もこれを追つて重慶に向ふと云はれ重慶外交界に多大のセンセーションを起してゐる、すなはち廿九日重慶來電によれば英米兩大使、目下重慶滯在中のコスム佛大使、ソ聯大使パナウチキン等とともに重慶において重慶會談を行ひ極東問題に關し忌憚なき意見の交換を行ふ豫定であると傳へ頗る注目されてゐる

日ソ通商取極め
具體的協議に入る

【モスクワ廿九日發國通】東郷大使は廿九日午後六時から外國貿易人民委員部においてミコヤン委員と約一時間に亘つて第二次會談を遂げた、廿九日の會談では日ソ通商取極めに關し具體的協議に入つた模樣である

山東省東部 敵匪掃蕩

【青島卅日發國通】海軍武

和平反共放送
元旦、汪精衛氏起つ

【上海卅日發國通】汪精衛氏等の和平救國の主張を廣く一般民衆に浸潤せしめるため最近新設された中央廣播電臺では、去る廿八日夜汪精衛氏の講演を放送して各方面に多大の感銘を與へたが、更に光輝ある和平運動第二周年たる民國廿九年正月を迎へ汪精衛氏および周佛海、褚民誼兩氏の和平反共救國の熱烈なる叫びをマイクを通じて左の如く全支民衆に傳へることになつた

一日午後九時（上海時間）＝汪精衛氏▲二日午後九時＝周佛海氏▲三日午後九時＝褚民誼氏

なほ同放送局のコール・サインはＸＧＯＫ、周波數は八千キロサイクル、波長は三七・五メートルである【寫眞は汪精衛氏】

捲於税法改正

捲煙税法の改正全文左の如し

一、第二條を左の如く改む
第二條　捲煙税の税率は左の區分による
1、國內製造捲煙　小賣定價の百分の四十四
2、輸入捲煙　小賣定價の百分の三十三

二、第九條第一項を左の如く改む
第九條　捲煙の製造者又は輸入業者はその製造し又は輸入する捲煙につき豫めその種類及び牌名（最小容器の包裝區分毎に一牌名とす以下同じ）毎に一箇年間における製造又は輸入數量の最低限度、卸賣價格（製造者又は輸入業者の卸賣業者又は小賣業者に對する賣渡價格及び卸賣業者の小賣業者に對する賣渡價格を謂ふ以下同じ）及び小賣定價を定め經濟部大臣の認可を受くべし、認可を受けたる製造若しくは輸入數量の最低限度、卸賣價格又は小賣定價を變更せんとする時亦同じ

三、第十條を左の如く改む
第十條　經濟部大臣捲煙の小賣定價又は卸賣價格を不相當と認むるときは捲煙の製造者又は輸入業者に對しその品位に相當する小賣定價又は其の小賣定價維持上必要と認むる卸賣價格を指定して之が變更を命ずることを得
其の製造又は輸入數量の最低限度が小賣定價維持上不適當と認むるとき亦同じ

四、第十條の次に左の三條を加ふ
第十條の二　捲煙製造者又は輸入業者左の各號の一に該當するときは經濟部大臣は當該捲煙の製造又は輸入の禁止を命ずることを得
1、製造又は輸入數量の實績が認可を受けたる最低限度に達せざりしとき
2、前條の命令に服從せざりしとき
3、第十條の四の規定に違反したるとき
第十條の三　捲煙の製造者又は輸入業者捲煙を卸賣業者に讓渡するときは當該捲煙に付認可を受けたる小賣業者に對する卸賣價格を書面を以て之に通知すべし、捲煙の卸賣業者捲煙を他の捲煙卸賣業者に讓渡するとき亦同じ
第十條の四　捲煙の製造者輸入業者及卸賣業者は當該捲煙に付認可を受けたる卸賣價格を超過する價格を以て之を販賣することを得ず

五、第十一條中「捲煙は」を「捲煙の小賣業者は」に改む

六、第十一條の次に左の一條を加ふ
第十一條の二　捲煙の製造者、輸入業者又は卸賣業者は同一營業場に於てその小賣業を兼營することを得ず

七、第十四條中「捲煙の製造數量」を「捲煙の製造數量、搬出數量」に改む

八、第十八條第十四號の次に左の一號を加ふ
五　第十條の二の命令に服從せざりしとき

九、第二十二條第四號の次に左の一號を加ふ
五　第十條の二の命令に服從せざりしとき

十、第三十二條を左の如く改む
第三十二條、第七條、第八條、第十條の三若は第十條の四の規定に違反し又は第十四條の規定に依る命令に服從せざりし者は二千圓以下の罰金又は科料に處す但し科料額は十圓を下ることを得ず

附則
本法は公布の日より之を施行す
從前の規定に依り小賣定價の認可を受けたる捲煙の卸賣價格は經濟部大臣之を指定す
本法施行の際現に捲煙の製造者、輸入業者又は卸賣業者にして同一營業場に於て小賣業を兼營する者は本法施行の日より三十日を限り引續き兼營を爲すことを得

物動計畫と並行
資金計畫を編成
日圓資金調達額は十一億八千萬圓

康德七年度日圓資金の調達計畫を作成するため經濟部當局に於ては曩に各特殊會社に命じて提出せしめた社債、株金拂込、借入金その他融資等の各項別日圓資金調達計畫に付き檢討を加へた結果經濟部としての原案作成を見るに至つたので去る廿七日本部に民間金融機關の代表を招集右原案を提示打合をなす所あつた、而して政府は明年度物動計畫の作成と睨み合せて資金計畫の滿洲國原案を年內に決定明年早々日本側關係當局と折衝を行ふ事となつてゐるがその爲め企畫處經濟部產業部の關係官は廿九日午前十時より物動、資金兩計畫編成會議を開始したが同會議は卅一日迄續行する事となつてゐる、本年度の資金調達總額は十七億五千萬圓（產業五ヶ年計畫資金十六億、北邊振興計畫資金一億五千萬圓）に達し內日圓資金の調達額は九億二千三百萬圓と調達總額の五七・六％に及んでゐるが明年度調達に於ても歐洲戰爭の影響に依る外資依存至難のため對日資調達の加重は避け難いものと見られてゐる、即ち現在の所日圓資金の調達要求額は

政府	一億五千萬圓
滿洲重工業	二億圓
滿洲炭礦	五千萬圓
昭和製鋼	七千五百萬圓
本溪湖煤鐵	五千萬圓
滿洲電業	八千四百九十三萬八千圓
滿洲電々	一千八百八十二萬四千圓
滿洲拓植	一億一千二百一萬九千圓
興銀	五千萬圓
滿鐵	三億五千五百萬圓

等の公社債がその主なる處であり、その外各社の株金拂込借入金並にその他の融資を合せて總額十四億二千四百餘萬圓（內公社債九億三千七百萬圓）の巨額に上つてゐるが、日本側起債市場の本年下期に於ける公債消化能力の鈍化より見ての明年度起債進捗への懸念並に物動計畫の進展による明年度資材手當の一般的窮屈化必至を考慮し、物動計畫と睨合せて重點主義により大體總額十一億八千萬圓程度に壓縮を加へる方針の下に嚴重査定する事となつてゐる、一方所要資金の現地調達額も如上の諸事情により當然加重され本年度內債四億五千四百十七萬五千圓に對し五億一千萬圓程度の調辨を必要とするものと見られてゐるが、以上日貨債內債とも建設工作の進展による所要額の本年度よりの增大は避け難い事情にあるとは言へ、これを物資の需給關係並に日本側の公債消化との關係等如何に調整して目的を達せしめるかに付き政府當局は多大の苦心を拂つてゐる

人事往來

▲園田青夫氏（滿炭社員）三十日來京三國ホテル
▲下山恒氏（同）同
▲江原貞男氏（建材社）同
▲若槻忠次氏（吉川組）同
▲奧村精一氏（村信洋行）同
▲松本綠氏（滿洲殖產常務）同
▲北島保氏（滿炭）國都ホテル
▲首藤定氏（新京自動車社長）同
▲三輪健一氏（黑河省公署庶務課長）國際ホテル
▲玉井廣武氏（官吏）同
▲新庄省一氏（同）同
▲工藤滿凌氏（協和會）同

本日朝刊四頁

社說 康德六年を送る

多事であつたこの年も暮れて行く。多事であつたとは近年毎年の年末にさう感じさせられることであるが今年はとりわけさうであつたと考へられるのである。

これを滿洲國について見ても、さまざまの出來事があつた。通觀してこれを言へば、それは愈よ建設の歩みをしつかりと踏みしめて來たといふことになるのであるが、その間にはまたさまざまの障害や苦難も存したのであつた。よくこれを切り拔けこれに打ち克つて來たのは、この國の政治的指導者の領導よろしきを得たこととともに、國民よくこれに協力し來つたに依るものと言ふべきであらう。

特記される出來事としてはノモンハン事件があつた。それはひとへにソ聯外蒙の不法侵攻にもとづいたものであつたのであるが、皇軍國軍の威武は斷乎としてこの不法をゆるさなかつた。中にも日本空軍の赫々たる戰果は世界戰史に驚異すべき記錄として書き留められたのである。軍義關係の事はこれを別として、同事件によつて滿洲國國民が切實に緊張したことは一つの見方を以てすれば巨きな收穫であつたとも言ひ得た。

聖戰は大陸に進んだ。新支那の政治體制が正式に成るのも愈よ近いであらう。東亞新秩序の重要なる據點としての地位を持つわが滿洲國である。この新支那の誕生に心からの歡呼をおくり、相携へて新しい協同體の實現に進まんことを期するのである。新しい支那が成ることによつて、滿系國民も必ずや良き心理的影響を持つであらう。東亞をあげての歡びの日は近づきつつある。

歐洲においてはつひに戰亂の勃發を見た。それに至る情勢は複雜怪奇の語を以て許されたが、たしかに複雜を極めたものではあつた。防共陣の主要な一環であつた筈の獨逸が突如としてソ聯と手を握つた如き、東方君子人をして當惑の極に陷れたやうであつた。だがこれを怪奇として片附けるのは研究的態度の不足を示すものであらう。歐洲各國はそれぞれ歐洲式に進み來つて今日の事態を招來したのである。そして現在の歐戰はまた曾つての大戰とは違つた様相の下に展開されつつある。その上にソ聯の、隣接弱小國に對する進攻が無遠慮に進められる等の出來事も起つてゐる。歐洲情勢の今後の成り行きにはわれらも不斷に注意を怠ることが出來ぬのである。

混沌醜險の中にも、建設されるものは建設されつつ、われらの康德六年の頁はここに終結する。

日本海汽船會社 愈よ創立の運び

一月中に營業開始

【東京國通】懸案の日本海海運國策會社設立計畫はこの程諸般の準備を完了、廿九日午後帝國ホテルに創立總會を開き定款、企業目錄書を承認し役員を選任した新會社の名稱は日本海汽船株式會社、資本金は三千萬圓（第一回拂込み千二百萬圓）で本店を東京市大阪ビルに置き一月中に營業開始の豫定である、同社は日本海を中心とする海運業を帶びこれに關聯する事業を營むことを目的とし主要經營航路は新潟＝北鮮航路、敦賀＝北鮮航路、敦賀＝浦鹽航路、伏木＝北鮮航路の四航路で出資船舶は北日本汽船六隻（二二、九六七總噸）大連汽船四隻（一三、七三三總噸）朝鮮郵船一隻（三、一一九噸）合計十一隻、三萬八千八百十九總噸

役員左の通り

取締役社長野村治一良（北日本汽船社長）專務取締役簗島信司（大連汽船顧問）常務取締役松村暢（大阪商船横濱支店長）取締役村田省藏（大阪商船社長）同櫟木幹雄（朝鮮郵船社長）同西村實造（大連汽船取締役）監査役森信次郎（北日本汽船常務）同生駒高常（滿拓理事）

日本海交通路 急速に整備せん

遞信省當局談發表

【東京國通】日本海汽船會社設立に關し遞信當局では左の如き談話を發表した

日本海における海運の統制强化に關してはかねて當局においても多大の關心を有し、多年これが指導助長に努めて來たのであるが今般關係海運會社が協力してその經營航路並に使用する船舶その他の施設を現物出資し、日本海汽船株式會社を設立するに至つたことは日本海における交通政策確立のため極めて有意義なことであつて洵に欣快に堪へない次第である、いふまでもなく日本海におけ る諸航路は內地、朝鮮、滿洲を連絡する航路としてわが國經濟政策の遂行上並に國防上重要なる使命を有するのみならず東北滿洲の開發の遂行を促進し開拓民國策の遂行を助成すると共に裏日本地方の發展を圖り、北部朝鮮の開發に資するため極めて重大なる關係を有し航路施設の擴充强化は刻下の急務である、本會社の設立は右の重要使命の遂行に邁へんとするものであつて今後日本海における海上交通は海運の綜合力により急速に整備せられるものと信ずる次第である當局においても今後本會社を適切に指導監督し會社設立の使命達成に萬遺憾なきを期するよう措置する方針である

"谷村計介"

昭和の傳令美談

【包頭廿九日發國通】去る廿一日前口子附近の戰鬪で熊本籠城の谷村計介にも似た勇敢な傳令が故部隊長の遺骸を戰鬪の終了するまで自分の身から離さず背負ひつゞけ部隊本部に至り安置した涙ぐましい美談がある

廿一日夕刻前口子附近で激戰中通信連絡が有線無線とも不能に陷つたので小林部隊長は○○部隊に急報する決死隊を募つたが、われもわれもと申出でる中から特に選ばれ重大任務の遂行に當ることになつた森塚三伍長（福岡縣出身）中島袈裟次上等兵（山梨縣出身）の兩傳令は夜陰に乘じ森伍長の巧みな支那語をもつて煙[illegible]に伏し、草に潛り重圍を突破、廿二日朝八時頃遂に○○部隊に通報、敵殲滅の機運を作つたものである

また原田仲次郎上等兵（群馬縣出身）は廿一日午後七時半小林部隊長が壯烈な戰死を遂げるや部隊長の傍を離れず、部隊長を背負ひ戰線を驅け廻り、戰鬪終了とゝもに部隊本部に安置したものであるが、親の如き心で部下に接すれば部下も赤水火も辭せず、頑敵破碎の堅忍不拔の皇軍精神を遺憾なく發揮したもので、この部隊長にしてこの部下ありと全軍將兵を感激せしめ豪勇無雙の○○部隊長もこの報告には涙を注いだといふ

長江遮斷企圖の 敵十萬を擊滅

江南一帶 敵誘引作戰戰果

【上海廿九日發國通】長江遮斷を企て青陽を中心とする江南一帶に十萬餘の兵力を集結した敵を陣地間近に誘引して廿三日を期し俄然總攻擊を開始した小松、石谷、後藤、井上、涛野、原田、石井の各部隊は曾形山、程家大山、大五峰、雲山の敵第一線陣地を猛攻谷部隊の程家大山攻略についで程家毛岸、大毛峰、高峰の敵陣地を粉碎、各精鋭進擊部隊の杉木山、安預山、栄氣附近における隨所の殲滅戰は廿五六兩日におよび青陽西方地區および北方地區の殘敵を一掃しこゝに敵の企圖した長江遮斷はわが事前攻擊により一場の夢と化し第三戰區の敵の主向方面たる青陽を中心とする冬季攻勢の陰謀を完全に暴露した、この戰鬪においてわが陸海航[illegible]部隊は退却大部隊および密集部隊に對し果敢な急降下爆擊を敢行敗走中の敵に大打擊を與へた、廿七日までに判明せる同方面の綜合戰果左の如し

遺棄死體六、二二四、捕虜七四、鹵獲兵器＝重機七、輕機二五、同彈藥一三、五○○、小銃五五二、同彈藥一七五、○○○、銃四三○、手榴彈一、六○○

蔣政府軍事機關 完全に爆碎さる

蘭州未曾有の損害

【香港卅日發國通】U・P通信蘭州來電によれば蘭州は日本空軍の連日に亘る反覆空襲を受けて同市未曾有の大損害を蒙り、去る廿六日以來發生した大火災が今なほ炎燒をつゞけてゐる、殊に廿八日の空爆による被害が最も甚大で外國人の生命財產には何等被害なかつたが、支那側軍事機關並に蔣政府各機關は完全に爆碎された、支那側當局は屢次の爆擊被害に鑑み市民疎散計畫を實行してゐるので蘭州は今や第二の重慶と化したが、外國人は今後も市中に殘留するに決定してゐる

【太原廿九日發國通】劉伯承の共產第百廿九師蠢動據點たる、遼鎭目がけて東北の三方面より破竹の進擊を續けてゐるわが鈴木、大友南の各部隊は廿八日遂にその據點を擊碎し五百の敵匪を殲滅、こゝに敵赤色地區再建企圖後方攪亂策を水泡に歸せしめたが行動開始以來廿八日までの三日間における綜合戰果左の如し

敵遺棄死體百廿六、捕虜五、鹵獲品小銃四、同彈藥三百四十五、拳銃一その他多數

雲南省產業開發

遲々として進まず

【香港廿九日發國通】廿九日の當地大公報は最近雲南省方面奧地の經濟開發に關し左の如く掲載してゐるが右によれば西南地方殊に雲南省の建設狀況は物資と勞働力不足の結果遲々として進まず、前途極めて悲觀的とされてゐる、第一に物資不足については交通運輸機關の不充分が機械類、原料品の入手を極めて困難ならしめてゐる、即ち西北ルートは西南にとつて遠距離に過ぎる不便があり、西南の最重要ルートたる滇越鐵道は輸送能力極めて低く一ヶ月輸送量九萬噸に過ぎず、また滇緬公路はトニックの不足とガソリンの價格昂騰のためその輸送能力は著しく阻害されてゐる

第二に勞働力不足は西南地方においては產業部門のみでなく農村でも顯著で、都市における食料品價格の昂騰にも拘らず地方における農產物價格は非常な低落を來してゐるのであるが、一方壯丁の徵發の結果農村勞働者の賃銀は戰前の三、四倍に昂騰してをり農村における手不足の結果は收穫の不可能ならしめ農村を荒廢に歸せしめてゐる、工業方面における勞働力不足は更に深刻で殊に熟練工は上海その他沿海都市から呼び寄せてゐる有樣である、雲南省においては賃銀は一日一元五角以上に二度の食事附となつてをり、優に下級官吏以上である

かうした實情により各種產業開發計畫は少しも實現されず何れも計畫倒れとなつてゐる、資源委員會昆明辨事處でも物資ならびに人的資源の缺乏から今後の雲南省の經濟活動は殆んど不可能な狀態にある旨告白してゐる

機械農場と 奉仕隊農場計畫

滿拓による新事業

小麥增產對策として政府は曾て資本金二千萬圓見當の農產開發株式會社の創立を目論み、同會社をして機械農法により全滿未利用地の開發を行はしめ小麥增產を圖らんとしたが、その後同計畫はこれを滿拓事業中の一部として滿拓が代行、小麥增產を行ふ外、右開發土地は將來開拓農民に附與する時は開拓農民にあつては開墾事業に要する勞力、期間を節約せられること なる結果團建設を促進せしめることゝなるといふ一擧兩得の案から遂に同計畫はこの程滿拓の手に移すこととなり、滿拓では直ちにこれが準備を進めることゝなつた、開墾用地即ち農場は主として北滿地區を選び一、小麥增產を主目的とする機械農場

二、飼料、小麥生產を併せ目的とする勤勞奉仕隊農場

の二種にこれを分類、機械農場は康德八年より數ヶ年內に十二農場を開設、一農場總面積一萬町歩、總計十二萬町歩を豫定し、一農場內における作付面積は四千町歩としてゐるが、これは地方維持の見地に基き輪作となつたもので、勤勞奉仕隊農場は明年より同じく數年內に廿餘ケ所を選定、一ケ所三千町歩、總計六、七萬町歩を豫定、一農場區耕作方法は前者と同樣輪作法をとり第一年度一千町歩とし他は休耕し三年目に第一年度播種地に還ることゝしてゐる

このうち機械農場については特に大量の耕作機器を必要とするが、右耕作機器の手當は既に日本に發註、滿拓需品部を通じて入荷の見込みあり、なほこれに要する從事員については滿拓社員として日本より募集する筈であり特に技術員については哈爾濱において委託養成を行ふ筈である

第二擊蘭州空爆同乘記

微笑の心の奧 死決す爆擊隊員

群る敵機の中 從容爆彈投下

【○○基地廿九日發國通】廿七日蘭州大空爆第二擊にあたり松山部隊、森垣中尉機に同乘、第一擊に引續き再び甘肅の空に乘んだ記者は、遂に十數機の敵戰鬪機群に遭遇、歷史的大空中戰の渦中にあつて得難き微鬪の體驗を得たのである卷雲が蒼空にかゝり地上は前日よりも一層濃ガスのためやゝかすんでゐたが相變らずの好天氣、支給されたサンドウヰッチを頰張つてゐると森垣中尉がふとふり向いて紙の[illegible]を見せた「自爆した時間（去る二月[illegible]」陸空軍蘭州空爆の犧牲者）に飲ませてやらうと思ふんです」と言はれてみればこれは平たい淸酒の一合壜二本「一本は私のです」と言ひながら猪口に注いでグッと一乾、同乘の人々にずつと廻した、のんびりと愉快さうな中尉の裏に窺る決死の意氣は慌しい機上ながら胸に迫るものがある

今日第二擊の先陣高射砲[illegible]と敵戰鬪機が昨日に懲りて充分用意を整へてゐるだ[illegible]ら敵地へ乘入る心は笑つてゐる中尉の顏の奧で靜か[illegible]死を決してゐるのである[illegible]一時卅二分堅い戰鬪隊形[illegible]作つた全部隊が蘭州目指[illegible]て征矢の如く進入しだし[illegible]時五泉山頂に大きな白い[illegible]火が上つた記者は今日の[illegible]要目的たる彈薬の模樣を[illegible]メラに收めるため機體後[illegible]の方へズルズルと這つて[illegible]つた、胴體後半部には既に窓といふ窓總てが開かれ仄暗く狹い室內には射手達が銃口をつき出したまゝ瞳をや輝やかしつゝ酸素吸入をやつてゐる身體を動かすのさへ惰い程稀薄な空氣の中で激しい機銃操作のための準備の數十秒である記者も苦痛になりつゝ身體をまげカメラをかまへた、零下卅度以下の空氣がすさまじい風となり

四十度

五十度、の氣溫になつて吹上つて來る、カメラを切るために航空手袋を脫いだため右手はすつかり凝結しもはや動かないかと思はれる、蘭州市街が視野に入るのを待ちつゝ辛うじて頑張つてゐると突然前方の機銃がダダダッと鳴り出した突如隼のやうに左に飛び交ふ敵機一機餘りに早くてシャッターはきれない、そこちの銃がガガガッと一齊に火を吹く、ガガガと硝煙にとざされ射手達は忽ち寒風に身を曝しながら敢然として敵に挑む、記者は再びカメラを構へた、零時五分爆彈が漸く落ち始めた、シャッターを切つたが音はきこえない、左手の小窓に三機の隼の如き敵機が見える、距離は遠いが射手はそれを狙ふらしい、決死の空中戰の中にも爆擊は整然と行はれてゐる、漸く視野に入つた市街西南角から火柱がどんどんつくられ白ッぽい光がキラリキラリ、もくもくとして黑い爆煙が一ッ二ッ三ッ四ッおう見事、夢中になつた記者はシャッターをきつてフイルムを卷き、きつては卷き入れること三回硝煙は寒風のため機內に渦まき、射手達はなほも機銃操作をやめないが、記者は既に精根盡きてしまつた、どつとふりむきざまに崩れるやうに腰を下すと後尾から妙なものが見える

尾部に

追從する僚機の機首だ恐ろしく堅い編隊だこれでは敵機が編隊內に入りこむことは絕對に不可能な譯だ、わが部隊の人々の苦しい訓練の賜に頭を下げる、依然銃把を握つて敵を睨む射手達を殘し苦しい息をはづませながらやつと前部の體の入るところまで這出て酸素をもらつて深く吸つた胸の動悸は何時までもやまず頭は割れるやうに痛い小野少尉は默々として操縱桿を握つてゐる、外は明るい陽光空中戰は漸く終つたらしい、漸く落着いた記者は約四十分の過去をふり返つてみた、敵地、深く乘入り戰鬪機群の荒狂ふなかに從容として投彈する爆擊手、想像も出來ぬ寒風とさしと銃を射ちまくる射手稀薄な大氣中で一機も亂らすべての搭乘員が一體となつて鬪ふ肉體と精神の兩面に襲ひかゝる最大の苦痛に打克つて鬪ふ部隊の戰鬪は正に神と思はせるものがある

記者の耳に觸れ眼に見たものは勿論大編隊の戰鬪中の極小部分に過ぎないだがその限られた體驗の中に脈々たる部隊決死の精神と非常な忍耐とを汲み得たのである、絕對不敗の信念をもつて鬪ふ射手、おそるべき堅固な編隊を實現した

操縱手

は遂に敵に姿を寄付けなかつた、記者は爆擊部隊がこゝまで高度に進んだことを身體で知り、その不斷の訓練に深い敬意を表したのである、操縱は少しの動搖も見せず悠々と東へ去る、暖い質實の陽光を浴びつゝしばし機上にまどろんだ、基地に着いて飛行機から降りたつた記者に森垣中尉がいつた

今調べて判つたんだが、敵の彈丸が一發あつた筈だ、戰鬪中だつたから知らなかつたかも知れないが運の良かつた人ですね

死者十一萬

トルコ大震災の被害

【イスタンブール廿九日發國通】去る廿七日のアナトリア地方を中心とするトルコ全土の大地震に關しトルコ・政府筋は廿九日中央トルコ・イルヴイン全地方のみで死者十一萬に上る旨發表した

同地方の家屋建築物は一軒も餘さず破損を受けてをりその大部分は無慘に倒壞多數の犧牲者を出したといはれる一方東部トルコ及び黑海沿岸地方の諸都市も相當の慘禍を蒙つた模樣であるが未だ被害程度は明かでない

スコットランド西方で 英主力艦擊沈

＝獨軍司令部發表

【ベルリン廿九日發國通】ドイツ軍司令部廿九日發表＝ドイツ潛水艦はスコットランド西方海上で英海軍クイーン・エリザベス級の主力艦（三五、○○○トン）を擊沈した

英海軍省發表

【ロンドン廿九日發國通】ドイツ軍司令部の英主力艦擊沈發表に對し英海軍省は廿九日左の如く發表した

英海軍の一主力艦は廿九日ドイツ潛水艦の水雷襲擊を受け若干の損害を蒙つたが死者は僅か三名に過ぎない

英領海峽沿岸漁撈許可問題解決

【シンガポール廿九日發國通】英領海峽植民地沿岸で漁撈に從事する日本人漁夫並にその所有にかゝる漁船に對する英當局の許可書は本年末を以て期限滿了となるので、豫て豐田シンガポール總領事はスモール海峽植民地總務長官とこれが改革に關し折衝を續けてゐたが、廿九日極めて友好裡に交涉を終了、許可書の有效期限を更に六ケ月延長することゝなつた

津浦沿線掃蕩

【上海廿九日發國通】津浦線沿線明光東南方約四十キロの自來橋附近に蟠屈蠢動する敵第卅三師を掃蕩すべく去る廿六日行動を起した岩山谷脇、芳村の各部隊は廿七日まづ貫溪（明光東方卅キロ）附近の敵約三百を擊滅したのち廿八日三方面より自來橋を包圍、これを完全に攻略して敵匪掃蕩を完了左の如き戰果を擧げた

敵遺棄死體八八、捕虜一○、小銃三三、同彈藥一、六○○、手榴彈九○

冀中地區掃蕩果

【保定廿九日發國通】冀中地區掃蕩中の柳川、富岡兩部隊は廿七日夕雄縣（保定東北）東北方十二キロの張家馬戶及び王家戶附近において各々約五百の敵を發見一氣にこれを擊滅左の如き戰果を擧げた

△柳川部隊＝敵遺棄死體一八六、鹵獲品＝小銃五○、輕機三

△富岡部隊＝敵遺棄死體一一六、鹵獲品＝小銃一一、チエコ機銃一

レニングラード軍管區司令官

【モスクワ廿九日發國通】フインランドに於けるソ聯軍の不振に鑑み當面責任者たるレニングラード軍管區司令官メレツコフ將軍の罷免說が傳へられたが廿九日モスクワに於ける非公式情報に依ればレニングラード軍管區司令官の後任には張鼓峰事件當時のソ聯軍參謀長で現極東赤軍司令官シュテルン將軍が任命されたと言はれる

獨商船タコマ號 ウ政府に抑留

【モンテヴイデオ廿九日發國通】ウルグワイ政府は廿九日ドイツ商船タコマ號を抑留するに決しバルドミール大統領は既にその手續きをとつた、しかしてこの理由とする所は同汽船がグラーフ・シュペー號自爆の際附近に待機し同艦員を救助した事は補助艦たると同樣で國際法規に違反するといふにある

徐駐伊公使

【ローマ廿九日發國通】イタリー駐在滿洲國公使徐紹興氏は家族同伴廿九日ナポリ出帆の郵船諏訪丸で歸國の途についたなほ同船には英海岸で機雷の犧牲となつた照國丸の乘組員も乘船してゐる

高木中銀理事等東上

高木中銀理事は明年度における滿洲國の紙幣印刷計畫に關し內閣印刷局との事務打合せの爲約三週間の豫定で卅一日午前九時卅分新京發はとで東上することゝなつた、これに先立ち同行石川發行課長は卅日午後六時五十分新京發のぞみで朝鮮經由東上した

宮中歳末の御儀
意義深く歳を送らる

【東京國通】近代文化に接して一世紀、明治維新の御鴻業を始め躍進又躍進の日本、更に今興亜の聖業に彌よ輝くこの一世紀の光輝ある青史の完成と榮ある神國の式年、紀元二千六百年をあと一日に、昭和十四年は暮れて行く畏くも宮中に於かせられては、卅一日最後の御儀節折、大祓並に宮中三殿の除夜祭の儀を行はせられ、ゆく歳を送らせられて淸らかに慶びの新年を迎へさせられる、この日天皇陛下には御小直衣を召され午後二時鳳凰間に出御、三條掌典長以下奉仕して荒世、和世の神事一入嚴かに行はせられ、更に竹にて御丈を量らせられ、之を折らせ給ふ古式床しい行事の裡に節折の御儀を終へさせられ、午後三時からは賢所前庭にて皇族方を始め奉り文武百官參列醍醐掌典次長奉仕し大祓の儀あり、それより宮中三殿に於ては三條掌典長祝詞を奏し奉りいと嚴かに除夜祭が行はれる、かくて神武天皇御即位の新春燦と輝いた星―二千六百年を經て同じ星の下皇國の式年に意義一入深き新春を迎へさせられる

倉庫に漲る正月の息吹き

聖戰第三年送る
銃後國民の赤誠

【東京國通】興亜の聖戰に邁進する大陸第一線將兵の活躍に呼應して銃後國民の捧げた赤誠の結晶は國防獻金に、慰問袋に、恤兵金にと或は皇軍の現地慰問にと事變發生以來獻納金品は莫大な額に達し當局を感激させてゐるが、聖戰第三年の昭和十四年中における陸軍への國防獻金は千九百四十萬圓、同恤兵金は約七百萬圓慰問袋六百四十萬個で殊に國防獻金は昭和十三年度に比し約三百七十萬圓を増加し事變發生以來の累計は約五千萬圓といふ驚異的な額に達した、本年は海外同胞からの恤兵金慰問袋等が非常に多く恤兵金五十二萬圓慰問袋十七萬個に達した、國防獻金の使途は特に緊急必要な兵器資材の整備に充てられ、軍當局では現在までに飛行機約二百五十機、戰車約百臺、高射砲約二百門を製作して國民の赤誠に應へた

銃後にある戰歿者遺族や傷痍軍人等に對する慰恤は軍事保護院はじめ政府の諸施設、軍事援護諸團體の施設が擴充されたので陸軍省恤兵部では第一線將兵の慰安激勵に重點を置き雜誌の發刊、繪葉書の作製各種娯樂部器具の配給、演劇家からなる慰問班の派遣、正月用慰問袋の配給等を行つて銃後國民の赤誠を將兵に傳へたが戰歿者遺族への弔慰金華花料百十萬圓、應召軍人家族に對する罹災見舞金二十五萬圓、入院患者退院時見舞金及慰安施設費九十八萬七千圓、戰傷奉公杖、靖國神社大祭に上京の遺族濟京旅費の支給等も本年度における主なる事業であつた

總領事館拜賀式

新京總領事館の元旦御眞影拜賀式は同日午前十時三十分から同十一時三十分まで一時間に亘つて構内大使館參事官邸に於て執り行はれる、市民の多數拜賀を希望されてゐる

全國大同佛教會
明春八日、九日擧行

滿洲大同佛教會は東洋永遠の和平は東亜民族共通の大乘佛教精神によつて人格の交流をなすことを主旨として專ら教化事業に努力し來たが、今や全滿に百七十個所の分會の設立を見るに至り、本年一月始めて第一次全國大會を開催して大に得るところがあつたので明年も一月八日、九日二日間に亘つて同會に於て第二次全滿大會を開くことに決定した、なほ七日には東亜佛教弘通の大恩師の報恩會を擧行することゝなつてゐるが行事は左の如くである

◇第一日(七日)報恩會(午前八時)晨朝(1)眞宗十二禮文拜誦(2)眞宗歌合唱(午前九時)財產委員協議會(午後一時)日中(1)正信偈拜誦(2)講演(午後七時)會先亡總支分區會職員、會員追弔會(1)初夜禮讃偈拜誦(2)講演(3)恩德讃合唱

◇第二日(八日)記念大會記念式(午前九時半起)(1)開會辭(2)日滿國歌奉唱(3)詔書捧讀(4)對日滿軍警殉國之英靈…會長…理事…詞(…)…會議(…)議長…決議…(午…)第三…協議…慰問…日滿…者派…(皇…)協和…願寺…(午…)詞(2)解散

「南風で送る昭和十四年」
新しき年を淸める雪が訪れるか?
けふ大晦日の天氣

慌しい師走情景を日一日色濃く描いて來た國都の巷にも愈よ大晦日はやつて來たけふ一日を以て多事多難本年掉尾の幕は降ろされるのである、だが本年の師走の暖かさは住みなれた國都人にも奇異を感じさせる程、遂に滿洲らしい本格的な寒波の襲來を見ないでしまつた、ことに昨日三十日の氣溫は「まことに珍しい現象で」と觀測子をびつくりさせた程の暖かさ、最高プラス二度と言ふ、南風巷に流れて凍てついた路上も解け街々は迎春準備の人波に氾濫し晴々とした景氣のいゝ師走情景を繰り展げた、かうも惠まれた天候は既報の如く目の前に訪れる輝く初春まで一氣に押し切り興亜晴れと言ふ嬉しい御託であつたが、氣溫は異變をもたらしてぐつと下るだらうと言ふ、中央觀象臺では語る

滿洲北部に發達した低氣壓が進行しつゝありこのため風が南になつて暖氣流が旺盛となり暖かさをもたらしたのである、然し三十日の夜から西風になり氣溫は下つてくる、結局この珍らしい氣溫は低氣壓が滿洲北部を通過したこと、高氣壓が揚子江流域にある氣壓配置から南風が南から北へ吹いて來た關係により、全滿はこの南寄りの風で暖かいのである、氣溫の低下に伴つてけふは雪になるかも知れない目下雪を呼ぶ低氣壓が進行しつゝあり、これが行過ぎると天候は至極よい、新春三日頃までは氣溫が下ると共に惠まれた天候となりませう

やはり減つた年賀郵便の數
人口の割から算出

傳統的慣例の年賀郵便は本年は時局下緊縮時代とあつて一般の自粛に俟ち、郵政當局では從來のやうな積極的宣傳をなさず、特に差出すものに限り二十日から二十九日まで特別扱をなしたが、果せるかなこの方面にも一般の自覺著しく新京中央郵政局の年賀郵便は引受百四十五萬六千百九十六通で、これを前年の百四十一萬五千八百五十一通に比べると僅かに四萬三百四十五通の増加、その割は二分八厘强の増ではあるが國都人口の増加に比例せば著しき減少を示し、如實に國民の緊張を反映させてゐると云ふことが出來る、一方到着は二十九日までざつと三十萬、昨年の同日に比しこれまた十萬の減である、この分は今後各地からの到着が全部終つて見ないと確たる數字は判明したが減少を辿つてゐることは想像に難くない、たゞ今年の年賀郵便に現はれた新しい傾向としては從來當局が鐘太鼓入りで「年賀郵便はお早く」を宣傳したにも拘らず、二十五日以降締切間際にどつと持ち込むので大いに悩まされたのであるが、今年はその反對の傾向を現はしてゐる、それは一般が郵政事務に對する認識を新にせる證據であらうと當局を喜ばせてゐる

少年箱師捕る

二十九日午後十一時三十分頃新京驛待合室を警戒中の鐵道警護隊山口特務は宵の口から各等待合室を徘徊する擧動不審の滿人を詰所へ連行取調べたところ、右は西安縣北門裡生れ住所不定前科一犯李維新(一九)と云ひ、懷中に金側腕時計一個(時價一百圓)現金六圓ならびに新京哈市間三等乘車券、西安、哈市兩驛入場券を所持してゐるので同特務は箱師ではないかと追及すると、いつぱしの惡黨氣質を氣取つてあつさり罪業を自白した、李は今春頃より箱師稼業をはじめ前後二十回に亘つて二千八百餘圓をせしめた外西安、奉天、新京、哈爾濱各驛に途中下車し見送りするが如き素振りで掏摸を働くこと卅八回約二千圓を稼ぎ、千圓餘を親許へ送りあとは各地歡樂街で大盡ぶつて居續け遊興するなどして費消したその祟りか嚴寒來とゝもに花柳病に罹り根治のため二十九日朝哈市より舞戻つて同日午後一時頃三等待合室賣店前で買物中の邦人紳士が煙草に火を點けてゐる隙に外套ポケットより金側腕時計一個、五圓在中のハンカチ包を掏取り又同七時頃出札口で切符購入中の滿人の外套右ポケットから一圓及び手紙在中の封筒を掏つたが治療費には足らぬのでなほも根氣よくよき鴨を物色してゐたもの目下餘罪追及中

大陸結婚行進曲
本年は四百七十七組

康徳七年が目の前に押しつまつた卅一日實氏夫妻の媒妁で東京市向島區隅田四三七出身の會社員田口一雄氏(二六)と福岡縣三池七二五生れの甲斐田禮子さん(二〇)が、同四時には某部隊勇士の鹿兒島縣薩摩郡永利村山田一六九五の三石保二氏(二九)と愛媛縣郡中港生れの藤岡富美子さん(二七)の二組がそれぞれ華燭の典を擧げたのである、これで本年度新京神社で擧げられた大陸結婚行進曲は總計四百七十七組、實に昨年度からは百七組餘の躍進ぶり、滿洲の春よ早く來いと言ふのに待ち切れなかつたか、慌たゞしい師走中に擧式した組だけでも四十に餘るがこれは歳廻りその他の都合を新年二人揃つて睦じくといふ趣向が多いとされてゐる、なほ新春劈頭の結婚式は六日午後一時からとあるが、何れにせよ生めよ殖せよの國策に嬉しくも呼應して年々大陸の花嫁が増加するのは目出度い限りである

コソ泥少年
歳末警戒の副產物

二十九日午後九時頃歳末非常警戒中の順天署小林班が三中井附近を密行中擧動不審の滿人少年を發見、本署に連行取調べた所吉林省生れ、小南崗魏家大院居住、元カフエー滿洲ボーイ董曾山(一七)といひ本年十月頃から數回に亘つて竊盜を働いてゐた事が判明したが主なる被害者は左の通りである

▲ミス神戸で金側腕時計(百圓)レコード二十四枚(三十圓)▲ダイヤ街リクエストでクローム腕時計(三十圓)多洋服三つ揃(百二十圓)ズボン一枚(二十圓)▲筒井ビル某宅で黒靴(二十圓)冬ズボン一枚(二十五圓)▲新興カフェーでレインコート二枚(二百十五圓)▲大經路某宅で寫眞機一臺(二百圓)協和服(三十圓)皮鞄一個(五十圓)置時計一個(七十八圓)

赤ん坊死す
添寢の不注意

三十日午前八時頃興安大路四三六號後藤忠夫さん妻麗子(二四)さんが長女晃子(一〇)ちゃんの添寢から眼覺めるとスヤ〳〵眠つてゐる筈の晃子ちゃんがすでに死亡してゐるので仰天、附近の醫院へ馳け込んで手當を施したが間に合はずこの旨所轄順天署へ屆け出た係官檢屍の結果麗子さんの添寢當時の不注意から窒息死したものとみられる

ドツと押出た旅客のラツシユ
年末の滿員列車

新春は内地へ故郷へとドツと押出る國都玄關口の新京驛では最繁忙期もどうやら峠を越した模樣だがまだまだ客は殺到して各列車はすし詰の超滿員ぶり、例年三等の客は一等に乘るといふ大變な景氣、寢臺券を所持する客でも溢れ出た客のため寢ることが出來ないといふ珍風景を描き、たんまりナスを懷につめ込み妻子や雇人まで引具した大家族連も押出して例年より二割増の物凄い景氣である、ツーリスト・ビユーローを覗いても船、汽車、旅館が豫約滿員となり申込みを斷るに汗だくの態である

蒙疆行航空便
取扱開始致します

滿洲國内から蒙疆への航空郵便は今まで取扱をなさず非常に不便を感じてゐたが去る十一日から北京蒙疆各地への定期航空が開始されたと同時に一般航空郵便の取扱をもなすことに決定した、料金は「二十一錢」で下便月、水、金、上便火、木、土となつてゐる、取扱局は張家口、大同、厚和、包頭となつてゐる

郵政取扱時間

新京中央郵政局の正月中の事務取扱時間は左の通り

▼一日から三日まで爲替貯金その他現金扱ひ窓口事務休業、通常郵便は午後三時まで取扱

▼四日より平常に復す

やまと號

【大阪國通】大阪遞信局入電=訪伊親善機やまと號は卅九日午後九時二分(滿洲時間)バグダツトに安着した

K・O日本支社へ正式に通告された

中銀帳尻

二十八日中銀帳尻左の如し(單位千圓)

	二十八日	前日比増
紙幣	[illegible]	[illegible]
鑄貨	[illegible]	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

滿洲糧友會事務所移轉

滿洲糧友會事務所は左記へ移轉した

新發北胡同一〇一(電)2六九七二番

康徳七年度の木材價格發表

木材の統制については輸入材、國内產材を問はず全面的に統制することに決定し林野局はさきに統制大綱を明かにしたが今回統制後における康徳七年度の滿林收買價格を決定し、卅日各營林署宛この旨通牒を發した新京ブロック内における收買價格は左の如くである(上より、作業地方名、出材量七〇%迄、出材量七一―九〇%迄、出材量九一―一〇〇%)

作業地方名	出材量七〇%迄	出材量七一―九〇%迄	出材量九一―一〇〇%
敦化營林署			
夾心子	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蛇牛河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牡丹嶺	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新開嶺	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沙河掌	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北大秧	[illegible]	[illegible]	[illegible]
威虎河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
前沙河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
樺甸營林署			
木箕河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
色洛河	[illegible]	[illegible]	[illegible]
琵琶溝	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雙岔頭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東北岔	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五常營林署			
安家	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蛇牛河	[illegible]	[illegible]	[illegible]

(右表の價格は紅松四米中丸太材上並込みの一立方米の價格)

關東軍報道班でタイピスト募集

關東軍報道班ではタイピスト數名を採用することになつた、待遇は月收七十五圓のほかに種々の特典がある資格は高女卒以上の學力ある者でタイピスト教習所出身者に限り市内に住居を有するもの、應募者は履歷書最近撮影せる寫眞持參報道

ビル事務員家出

錦町三ノ一八錦ビル事務員京畿道利川郡生れ李昌福(二六)は二十九日朝主人より金錢ならびに操行上について懇諭意見されたのを悲觀してか同夜「死んで詫びます」との遺書を殘して家出行方を晦したので驚いた店主は三十日中央通署へ李の所在搜査方を願ひ出た

班へ出頭されたいと

ガンガデイン上映禁止決定

【東京國通】正月映畫の大作としてフアンに期待されてゐた問題の映畫「ガンガデイン」は、英國の對印度政治を取扱つてある點で公安上害ありとの理由で檢閲不許可と決定し廿九日R・

七分搗

最近社屋の完成をみた特殊會社は二三もあるが何れも政府の重要物資統制の網の手から辛うじて目こぼしをうけたものだけに、重役連は今更新社屋の居心地の好さにホッと一息の態だ▼今迄の借家住ひに比較するならばまるで天地宵壤の差であると同時に從來一社が社屋の關係上數ヶ所に散在してゐた時代と比較するならば事務能率上多大の效果があるとは山田滿炭理事の新社屋禮讃の辯だ▼但し一階より四階迄をテクシーで驅け昇り、驅け降りは若い社員は兎も角老人は聊かならず閉口だとは一老社員の述懐▼エレベーターに就ては設計の中にもあるし當然必要とするものだが、時局柄政府が物資節約を叫び、さては電氣節約を強調してゐる今日、かまふものかとドシドシ取付けて心臓の強い所を示せないのも時局調か

天氣と氣溫

けふの天氣 西寄りの風稍々強く晴れ時々曇

きのふの氣溫 最高 二度四 最低零下[illegible]度一